

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 財団法人浜松国際交流協会

1 事業の趣旨・目的

浜松市在住の外国人の日本語教育支援の拡充と、外国人市民の自立及びコミュニティの確立を目指す。日本語能力を有する外国人（ブラジル、フィリピン、ベトナム、中国、台湾、アルゼンチン）を対象に、同郷人に対してバイリンガルでの日本語指導と日本社会の習慣やマナーなどを教授できる人材を養成する。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
平成 21 年 8 月 4 日	浜松市多文化共生センター	庄田、石川、竹村、加藤、村木、川合、佐藤（ゲスト）、中島（ゲスト）、事務局	平成 20 年度実施報告と平成 21 年度実施内容について	・当講座のニーズは高い。 ・平成 21 年度は 9 月より講座を開始。 ・公開講座を 2 回設ける。 ・教室設置の方法についても授業に取り入れる。 ・子どもから大人まで支援できるバイリンガル教師の養成を目指す
平成 21 年 12 月 3 日	浜松市多文化共生センター	庄田、石井、竹村、川合、事務局	平成 21 年度実施内容と今後の展望について	・修了者にカード型修了証を発行 ・本事業を広く周知させすすめていく為にも、得られた効果などをまとめ、行政の取り組みとしていけるよう、提言書を

				提出する ・修了生を活用し、中国人のための日本語教室を設置する
--	--	--	--	------------------------------------

【写真】



3 養成講座の内容について

(1) 養成講座名

バイリンガル教師養成講座

(2) 養成講座の目標

バイリンガル教師の養成と育成により、多文化共生社会に資する地域の日本語教育事業の充実を図り、外国人コミュニティの自立を促す。さらに、一昨年および昨年度の講座修了者の活躍から、受講者が外国人支援リーダーになるべく、バイリンガル教師としての在り方について内省し、意識と技術の向上を図る。

(3) 受講者の総数 17 人

(4) 開催時間数(回数) 21.5 時間 (14 回)

(5) 参加対象者の要件

日本語能力試験 2 級以上を取得或いは同等のレベルの日本語を母語としない人

(6) 受講者の募集方法

募集チラシの配布

(7) 研修会場

浜松市多文化共生センター、第一伊藤ビル4階会議室

(8) 使用した教材・リソース

講師作成プリント、ビデオ、日本語教材、パワーポイント

(9) 講座内容

	開催日時	内容	講師	受講者数
1	9月12日 前半(午前) 10:30~12:00	開講式／なぜ、今バイリンガル教師なのか	浜松学院大学教授 米勢治子氏	17人
2	9月12日 後半(午後) 14:00~15:30	日本語を教えるということ～先輩の声を聞く～	財団法人浜松国際交流協会 堀永乃 金城アイコ氏(ブラジル)、 牧野リナ氏(フィリピン)	16人
3	9月19日 前半 14:00~15:30	日本語の教え方①～入門編～	東京女子大学教授 石井恵理子氏	16人
4	9月19日 後半 15:30~17:00	日本語の教え方②～授業の組み立て方～	東京女子大学教授 石井恵理子氏	15人
5	10月10日 前半 14:00~15:30	日本語の教え方③～教室活動と教材紹介、教材活用法～	静岡大学留学生センター准教授 袴田麻里氏	15人
6	10月10日 後半 15:30~17:00	日本語の教え方④～コミュニティで教える～	静岡大学留学生センター准教授 袴田麻里氏	15人
7	10月24日 前半 14:00~15:30	Lifeを支える日本語教育(公開講演)	東京女子大学教授 石井恵理子氏	15人
8	10月24日 後半 15:30~17:00		東京女子大学教授 石井恵理子氏	15人
9	11月14日 14:00~15:30	教室設置の方法	静岡県ベトナム人協会名誉会長 山田明(トラン・バン・ミン)氏(ベトナム)	15人
10	12月5日 前半 10:30~12:00	教案の書き方、教案作成指導①	常葉学園大学教授 清ルミ氏	12人
11	12月5日 後半① 13:30~15:00	教案の書き方、教案作成指導②	常葉学園大学教授 清ルミ氏	15人
12	12月5日 後半② 15:00~17:00	バイリンガル教師の可能性(公開講演)	常葉学園大学教授 清ルミ氏	15人
13	12月19日 前半 9:30~11:00	実習①	常葉学園大学教授 清ルミ氏	15人
14	12月19日 後半 11:00~12:30	実習②／修了式	常葉学園大学教授 清ルミ氏	15人

※2009年9月9日に、中国・台湾出身の受講生と意見交換を開催（於 福祉交流センター）

※2010年2月17日に台湾出身の修了生が研修の一環として日本語ボランティア養成講座（浜松国際交流協会主催浜松市委託事業）に参加

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

【講座の感想(記述/原文まま)】

- ・ 今まで、教案の作成、日本語の教え方など困っていましたが、少しずつ授業の組み立ての方法を分かりました。すばらし講座に参加させて頂きまして、大変勉強をなりました。これからもこの経験を活用し、頑張りたいと思います。
- ・ 改めて、この講座の大切さを感じました。そして私たちがもっている課題を知ることができました。ためになることばかりで、ならったことをいかしたいです。
- ・ 自分がにがてなところをいっぽんすすむことができました。とてもよかったです。たくさんまなぶことができました。これからまいにちのちのちじょうせいかつにいかしたいです。むずかしいところもたくさんありました。
- ・ 指導が分かりやすかったです。ダイナミックな授業と私にとっては一番合っただと思えます。いろんな事を学びました。分からない事がたくさんありましたが、いっしょにいった友達と相談をして助かりました。
- ・ バイリンガル教師としての私達は実際に日本でどのような存在ですか。どのように自分の立場とこの社会的な日本語教師の立場を融合するか、よく教しえてくださいました。本当に感謝します。バイリンガル教師として一から教しえてくれた。これから自信を持って前向きに行きたいです。
- ・ 教える内容がとてもわかりやすかった。いろんなことを勉強できてよかったです。ありがとうございました。
- ・ 内容は興味深くとても良かったです。社会に置けるたちば等、もっと広い目線で見方を確認できました。
- ・ 否定的な考え方や日教師としての立場を再認識できた。短期間で他の教師の教え方の見学をもりこんでいただければ、イメージをかたまるため。
- ・ 教案だけでなく、教授法に触れられてとても勉強になりました。また、清先生のバイリンガルに対する期待の大きさも伝わってたくさん力をもらいました。日本語の教え方、教案などとても充実していたと思えます。しかし、教室設置方法は具体性に欠け、また運営方法についてもやるべきだと思えました。
- ・ とても勉強になりました。自分が分かっているても伝えられないことが多く、その教え方を教えてもらって本当にかんしゃしています。

- ・ じっさいにおしえるときにやくにたつことをおしえてくれてほんとうによかったとおもいます。全体的にこころにのこる、これからのせいかつにあてはめたいとおもいます。ありがとうございます。
- ・ バイリンガル教師の可能性（公開講演）を聞いて、自信を持つようになりました。教案の書き方、作成を勉強して実際にやって見て、自分の足りない部分を知るようになりました。今回の講座を受けて、バイリンガルとして自分が何ができるか、あらためて分かるようになりました。それと教え方についてもとてもいい勉強になりました。とてもよかったです。
- ・ 実際に授業ができてよかったと思います。忠告や色々教えてくれたのでとても役に立ちました。初めてこのような講座を受けたので、とても勉強になりました。
- ・ 実習 - 教えるときにもっとじぶんじしんをかいらょうしたいとおもいます。それであいてをもっとわかりやすく教えることができます。（講座は）よかったとおもいます。いろいろおぼえてありがとうございます。

② 実施主体からの研修内容結果評価

- ・ バイリンガル教師養成講座を3年継続して実施することができたことにより、バイリンガル指導者の後輩が生まれ、次世代の育成ができた。
- ・ また、ブラジル、フィリピン、中国、ベトナム、アルゼンチン、台湾と幅広い国籍の出身者が集まったことで、外国人が浜松で定住していくために必要なことや、外国人が日本人や日本社会に対して感じることを共通認識として見出せた。また、今年度は「教室設置の方法」として、コミュニティで教室を立ち上げるために何が必要かを講義に取り入れ、「自分たちでも教室を作ることができる」という自信につなげることができた。
- ・ 先輩バイリンガル教師が講師となり活動をイメージすることができ、外国人のエンパワメントを促すことができた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・ バイリンガル日本語指導者が、外国人コミュニティのなかで日本語を教えることは、自らの日本語能力を高めることにもつながる。そのため、彼らがより高いレベルの日本語を学べるよう、国際交流協会をはじめ NPO や日本語教育支援団体等とも連携をしながら人材育成をすすめる。
- ・ 当講座修了生を講師として起用し今までブラジル人、フィリピン人向けの2教室を設置したが、来年度は中国帰国者向けの日本語教室の設置を目指す。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

- ・ プロジェクト・ジュントス（浜松市主催）日本語教室
- ・ 静岡県外国人住民の日本語取得促進緊急委託事業「再就職のための日本語教室」

② 研修後の人材活用

- ・ 中国帰国者等、コミュニティが主催する日本語教室で修了生を講師として起用予定
- ・ バイリンガル教師はコミュニティで日本語を教授するだけでなく、日本人に対しても母国の文化を伝える「異文化トレーナー」の資質も兼ね備えているので、浜松市外国人学習支援センターにおける文化体験講座や日本語ボランティア養成講座などで多くの修了生が教壇に立っている

(12) 今後の課題

前述のとおり、バイリンガル教師は異文化トレーナーとしての資質を兼ね備えている。

従来の日本語教室における指導者の多くは日本人であり、外国人学習者に対して一方向に向いた日本語指導がなされていた。しかしながら、バイリンガル教師が活躍する教室では、双方の文化を理解している彼らが外国人学習者と地域の日本人住民との懸け橋として存在している。

互いの利点を生かしながら、バイリンガル教師と日本人教師のお互いがチームティーチングで授業をすすめていくことが理想ではあるものの、やはりバイリンガル教師の立場が十分認められておらず、残念ながらバイリンガル教師を単なる「通訳」としてしか見ない日本人教師も多い。

こうしたことから、バイリンガル教師に対する社会的地位の向上と「異文化トレーナー」としての認知が必要である。さらに、彼らのような高い日本語能力と日本社会への理解を持つ定住外国人の高度人材の掘り起こしと、その人材の育成と活用について、静岡県や浜松市の自治体（教育委員会を含む）に対して提言する。